

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	妹背牛町地域農業再生協議会		整理番号	1		
使途名	麦収益力向上助成					
対象作物	麦					
単 価	13,180円/10a以内(上限21,000円)					
課 題	本町は豪雪地帯であるため雪解けも遅く春先には降雨が多発するため排水不良による単収の低下を招いていることから排水対策等を徹底する必要がある。また、単収を増加し収益力の向上を図るためには適切な肥培管理を徹底し、生産性、品質の向上を図る必要がある。					
目 標			2016~2020 の平均 (5中3)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	単収	目 標	-	459kg/10a	479kg/10a	499kg/10a
	作付面積		-	460ha	460ha	460ha
	単収	実 績	434kg/10a	-	-	-
作付面積	453ha		-	-	-	
内 容	地域全体の生産性・品質を向上し収量の安定化を図るため、単収向上の取組に対し交付する。					
具体的要件	<p>○助成対象者:助成対象作物を販売目的で作付した農業者又は農業生産法人</p> <p>○対象農地:水田</p> <p>○取組要件</p> <p>以下より2つ以上実施。</p> <p>①心土破碎(サブソイラ、プラソイラ等施工)、②明暗渠の施行(無材暗渠施工含む)</p> <p>③心土改良(カッティングソイラ等施工)、④畦間サブソイラ施工、⑤高畦栽培</p> <p>⑥深耕爪付プランタの利用、⑦畦間土壌透水性改善(カルチベータ等施工)</p> <p>⑧土壌診断結果に基づく適正施肥を実施する。</p> <p>⑨適期播種を実施すること。(晩期限界期限までの播種) ※晩期限界期限については、空知農業改良普及センター北空知支所が農業者向けに配布している「営農情報」で示された期日とする。</p> <p>⑩融雪促進による圃場の乾燥化(融雪剤散布、サブソイラ等による雪上心土破碎、作業機械等による除雪や雪割り作業等の実施)</p> <p>⑪消毒が施された種子を播種する。 ※ただし、大豆等の間作で秋小麦を栽培する場合において、未消毒種子を播種する際は、降雪前に1回以上の雪腐防除を実施することとする。 ことで消毒が施された種子の播種に変えることとする。</p> <p>⑫疫病の発生を防ぐための防除作業を実施すること</p> <p>⑬病害虫発生予察情報を基にした適期病害虫防除の実施</p> <p>⑭緩効性肥料の使用</p>					
取組の 確認方法	<p>○助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物 交付申請書、営農計画書等で確認</p> <p>○取組要件</p> <p>①作付面積:共済加入者は共済引受面積、共済未加入者は農協等が確認している面積により確認。</p> <p>②取組実績面積については圃場位置図、栽培管理台帳、作業日誌、資材購入伝票等により確認。</p>					
成果等の 確認方法	<p>当年11月末までに、以下の方法で確認する。</p> <p>作付面積については、支払対象面積を集計 単収は出荷量を証明できる書類の写しにより集計。 (単収=全製品出荷量÷全作付面積)</p>					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付して下さい。

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	妹背牛町地域農業再生協議会			整理番号	2	
使途名	大豆収益力向上助成					
対象作物	大豆(黒大豆含)					
単 価	13,180円/10a以内(上限21,000円)					
課 題	本町は豪雪地帯であるため雪解けも遅く春先には降雨が多発するため排水不良による単収の低下を招いていることから排水対策等を徹底する必要がある。また、単収を増加し収益力の向上を図るためには適切な肥培管理を徹底し、生産性、品質の向上を図る必要がある。					
目 標			2016~2020 の平均 (5中3)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	単収	目 標	-	290kg/10a	295kg/10a	302kg/10a
	作付面積		-	120ha	120ha	120ha
	単収	実 績	281kg/10a	-	-	-
作付面積	120ha		-	-	-	
内 容	地域全体の生産性・品質を向上し収量の安定化を図るため、単収向上の取組に対し交付する。					
具体的要件	<p>○助成対象者:助成対象作物を販売目的で作付した農業者又は農業生産法人</p> <p>○対象農地:水田</p> <p>○取組要件</p> <p>以下より2つ以上実施。</p> <p>①心土破碎(サブソイラ、プラソイラ等施工)、②明暗渠の施行(無材暗渠施工含む)</p> <p>③心土改良(カッティングソイラ等施工)、④畦間サブソイラ施工、⑤高畦栽培</p> <p>⑥深耕爪付プランタの利用、⑦畦間土壌透水性改善(カルチベータ等施工)</p> <p>⑧土壌診断結果に基づく適正施肥を実施する。</p> <p>⑨適期播種を実施すること。(晩期限界期限までの播種) ※晩期限界期限については、空知農業改良普及センター北空知支所が農業者向けに配布している「営農情報」で示された期日とする。</p> <p>⑩融雪促進による圃場の乾燥化(融雪剤散布、サブソイラ等による雪上心土破碎、作業機械等による除雪や雪割り作業等の実施)</p> <p>⑪消毒が施された種子を播種する。 ※ただし、大豆等の間作で秋小麦を栽培する場合において、未消毒種子を播種する際は、降雪前に1回以上の雪腐防除を実施する。 ことで消毒が施された種子の播種に変えることとする。</p> <p>⑫疫病の発生を防ぐための防除作業を実施すること</p> <p>⑬病害虫発生予察情報を基にした適期病害虫防除の実施</p> <p>⑭緩効性肥料の使用</p>					
取組の 確認方法	<p>○助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物 交付申請書、営農計画書等で確認</p> <p>○取組要件</p> <p>①作付面積:共済加入者は共済引受面積、共済未加入者は農協等が確認している面積により確認。</p> <p>②取組実績面積については圃場位置図、栽培管理台帳、作業日誌、資材購入伝票等により確認。</p>					
成果等の 確認方法	<p>令和4年2月末までに、以下の方法で確認する。</p> <p>作付面積については、支払対象面積を集計</p> <p>単収は出荷量を証明できる書類の写しにより集計。 (単収=全製品出荷量÷全作付面積)</p>					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付して下さい。

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	妹背牛町地域農業再生協議会			整理番号	3	
用途名	そば収益力向上助成					
対象作物	そば					
単 価	12,600円/10a以内(上限15,300円)					
課 題	本町は豪雪地帯であるため雪解けも遅く春先には降雨が多発するため排水不良による単収の低下を招いていることから排水対策等を徹底する必要がある。また、単収を増加し収益力の向上を図るためには適切な肥培管理を徹底し、生産性、品質の向上を図る必要がある。					
目 標			2016~2020 の平均 (5中3)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	単収	目 標	-	76kg/10a	79kg/10a	82kg/10a
	作付面積		-	41ha	42.8ha	44.6ha
	単収	実 績	72kg/10a	-	-	-
作付面積	35.7ha		-	-	-	
内 容	地域全体の生産性・品質を向上し収量の安定化を図るため、単収向上の取組に対し交付する。					
具体的要件	<p>○助成対象者:助成対象作物を販売目的で作付した農業者又は農業生産法人</p> <p>○対象農地:水田</p> <p>○取組要件 以下より2つ以上実施。 ①心土破碎(サブソイラ、プラソイラ等施工)、②明暗渠の施行(無材暗渠施工含む) ③心土改良(カッティングソイラ等施工)、④畦間サブソイラ施工、⑤高畦栽培 ⑥深耕爪付プランタの利用、⑦畦間土壌透水性改善(カルチベータ等施工) ⑧土壌診断結果に基づく適正施肥を実施する。 ⑨適期播種を実施すること。(晩期限界期限までの播種) ※晩期限界期限については、空知農業改良普及センター北空知支所が農業者向けに配布している「営農情報」で示された期日とする。 ⑩融雪促進による圃場の乾燥化(融雪剤散布、サブソイラ等による雪上心土破碎、作業機械等による除雪や雪割り作業等の実施)</p>					
取組の 確認方法	<p>○助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物 交付申請書、営農計画書等で確認</p> <p>○取組要件 ①作付面積:共済加入者は共済引受面積、共済未加入者は農協等が確認している面積により確認。 ②取組実績面積については圃場位置図、栽培管理台帳、作業日誌、資材購入伝票等により確認。</p>					
成果等の 確認方法	<p>当年11月末までに、以下の方法で確認する。 作付面積については、支払対象面積を集計 単収は出荷量を証明できる書類の写しにより集計。 (単収=全製品出荷量÷全作付面積)</p>					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付して下さい。

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	妹背牛町地域農業再生協議会		整理番号	4		
用途名	地域振興作物助成					
対象作物	花き(切り花母樹も含む)、ししとう、ブロッコリー、ミニトマト、メロン ※花きの品種については別紙に記載					
単 価	49,420円/10a以内(上限63,000円)					
課 題	地域の農産物生産を維持するにも産地の高齢化や労働力不足が懸念されている中、収益性の高い作物の導入を図り、産地の強化や複合経営を推進するため生産面積の拡大が必要である。					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	作付面積	目標	-	18.5ha	19.5ha	20.5ha
		実績	17.7ha	-	-	-
内 容	水田収益力強化ビジョンに掲げる地域振興作物の作付に対して助成 当該作物は、地域農業経営の安定において今後とも継続して振興すべきものであり、より一層の産地力強化を図る。					
具体的要件	○助成対象者:助成対象作物を作付した農業者 ○対象農地:水田 ※新規作付において収穫不能な花き等の品種については、通常の作付で行う肥培管理を要件とする。					
取組の 確認方法	○助成対象者、助成対象水田、助成対象面積、助成対象作物 交付申請書、営農計画書、現地確認、圃場位置図、水田収益力強化ビジョンで確認 新規作付等で収穫不能な花き等については栽培管理台帳等で確認					
成果等の 確認方法	当年11月末までに、以下の方法で確認する。 作付面積については、支払対象面積を集計					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付して下さい。

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	妹背牛町地域農業再生協議会			整理番号	5	
用途名	地域振興作物助成					
対象作物	小豆					
単 価	39,120円/10a以内(上限47,500円)					
課 題	地域の農産物生産を維持するにも産地の高齢化や労働力不足が懸念されている中、収益性の高い作物の導入を図り、産地の強化や複合経営を推進するため生産面積の拡大が必要である。					
目 標			2016~2020 の平均 (5中3)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	作付面積	目標	-	10.9ha	11.1ha	11.4ha
		実績	9.5ha	-	-	-
内 容	水田収益力強化ビジョンに掲げる地域振興作物の作付に対して助成 当該作物は、地域農業経営の安定において今後とも継続して振興すべきものであり、より一層の産地力強化を図る。					
具体的要件	○助成対象者:助成対象作物を作付した農業者 ○対象農地:水田					
取組の 確認方法	○助成対象者、助成対象水田、助成対象面積、助成対象作物 交付申請書、営農計画書、現地確認、圃場位置図、水田収益力強化ビジョンで確認					
成果等の 確認方法	当年11月末までに、以下の方法で確認する。 作付面積については、支払対象面積を集計					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付して下さい。

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	妹背牛町地域農業再生協議会			整理番号	6	
用途名	地域振興作物助成					
対象作物	【基幹作物】 その他野菜 ※その他野菜については別表で定める。					
単 価	20,590円/10a以内(上限25,000円)					
課 題	地域の農産物生産を維持するにも産地の高齢化や労働力不足が懸念されている中、収益性の高い作物の導入を図り、産地の強化や複合経営を推進するため生産面積の拡大が必要である。					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	作付面積	目標	-	4.8ha	5.1ha	5.5ha
実績		4.6ha	-	-	-	
内 容	地域水田収益力強化ビジョンに掲げる地域振興作物の作付けに対して助成。(ただし、戦略作物は除く。) 当該作物は、地域農業経営の安定において今後とも継続して振興すべきものであり、より一層の産地力強化を図る。					
具体的要件	○助成対象者:助成対象作物を作付けした農業者 ○対象農地:水田					
取組の 確認方法	○助成対象者、助成対象水田、助成対象面積、助成対象作物 交付申請書、営農計画書、現地確認、ほ場位置図、水田収益力強化ビジョンにて確認					
成果等の 確認方法	当年11月末までに、以下の方法で確認する。 作付面積については、支払対象面積を集計					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付して下さい。

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	妹背牛町地域農業再生協議会		整理番号	7		
使途名	わら利用助成(耕畜連携)					
対象作物	飼料用米					
単 価	10,700円/10a以内(上限13,000円)					
課 題	稲わらは、稲刈り収穫後に圃場で乾燥させたのちに収集する必要があるが、その稲わらを畜産農家等に販売し収益力向上を図るため、本取組を支援し今後も継続的に耕畜連携の取組を推進する必要がある。					
目 標			2016~2020 の平均 (5中3)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	取組面積	目 標	-	14.3ha	15.5ha	16.7ha
	作付面積		-	55ha	57ha	60ha
	取組面積	実 績	8.7ha	-	-	-
作付面積	54.7ha		-	-	-	
内 容	耕種農家と畜産農家における地域内連携を図るため、飼料用米生産ほ場の稲わら利用による耕畜連携に取組む農業者に助成する。					
具体的要件	<p>○助成対象者 : 助成対象作物を作付けした農業者</p> <p>○対象農地 : 水田</p> <p>○助成対象作物 : 飼料用米</p> <p>○取組要件</p> <p>1 連携の相手方となる者(畜産農家等)との間に、3年間以上を締結期間とする利用供給協定が締結(自家利用の場合には自家利用計画が策定)されていること。なお、利用供給協定に含まれるべき事項は以下のとおり。</p> <p>【利用供給協定に含まれるべき事項】</p> <p>① 取組の内容 ② わらを生産する者 ③ わらを収集する者 ④ わらを利用する者 ⑤ ほ場の場所及び面積</p> <p>⑥ 刈取り時期 ⑦ 利用供給協定締結期間 ⑧ わら取引の条件(作業分担及び品代・経費の負担) ⑨ その他必要な事項</p> <p>2 生産されたわらが飼料として利用され、かつ、その子実が飼料又は飼料の種苗として利用されること</p> <p>3 刈取り時期が出穂期以降で利用供給協定に定める時期であること</p> <p>4 他の耕畜連携の助成(整理番8、9)の助成を受けていないこと</p> <p>5 生産性向上のための課題に対する取組として、別紙の取組のうち1つ以上に取り組むこと。</p>					
取組の 確認方法	<p>○助成対象者、助成対象水田、助成対象面積、助成対象作物 交付申請書、営農計画書、利用供給協定書、現地確認、水田収益力強化ビジョンにて確認</p> <p>○その他 取組実績面積は、圃場位置図、新規需要米取組計画書、新規需要米出荷契約数量等農業者別一覧表、新規需要米認定結果通知書、作業日誌、写真等により確認</p>					
成果等の 確認方法	<p>当年11月末までに、以下の方法で確認する。</p> <p>取組面積については、支払対象面積を集計</p> <p>作付面積については、新規需要米取組計画書、認定結果通知書等により確認</p>					
備考						

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	妹背牛町地域農業再生協議会		整理番号	8		
使途名	水田放牧助成(耕畜連携)					
対象作物	飼料作物					
単 価	10,700円/10a以内(上限13,000円)					
課 題	高齢化や労働力不足が懸念される中、飼料作物生産圃場で家畜の放牧を推進することにより、作物作付後の肥培管理等の省力化、また家畜の糞尿等により地力を高めることができることから水田放牧による耕畜連携の取組を支援する必要がある。					
目 標			2016~2020 の平均 (5中3)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	取組面積	目 標	-	0.4ha	0.5ha	0.6ha
	作付面積		-	25ha	27ha	30ha
	取組面積	実 績	0.3ha	-	-	-
作付面積	24.2ha		-	-	-	
内 容	耕種農家と畜産農家における地域内連携を図るため、飼料作物生産水田での放牧による耕畜連携に取組む農業者に助成する。					
具体的要件	<p>○助成対象者 : 助成対象作物を作付けした農業者</p> <p>○対象農地 : 水田</p> <p>○助成対象作物 : 飼料作物</p> <p>○取組要件</p> <p>1 連携の相手方となる者(畜産農家等)との間に、3年間以上を締結期間とする利用供給協定が締結(自家利用の場合には自家利用計画が策定)されていること。なお、利用供給協定に含まれるべき事項は以下のとおり。</p> <p>【利用供給協定に含まれるべき事項】</p> <p>① 取組の内容 ② 飼料作物を生産する者 ③ 牛群を管理する者 ④ ほ場の場所及び面積 ⑤ 牛の入退牧の時期及び放牧頭数 ⑥ 利用供給協定締結期間 ⑦ 水田放牧の条件(作業分担及び品代・経費の負担) ⑧ その他必要な事項</p> <p>2 作付水田において、当年度に放牧の取組が行われること</p> <p>3 1ha当たりの放牧頭数が成牛換算で2頭以上であること。 (成牛換算は育成牛2頭当たり成牛1頭とする)</p> <p>4 1ha当たりの延べ放牧頭数が180頭日以上であること</p> <p>5 他の耕畜連携の助成(整理番7、9)の助成を受けていないこと</p>					
取組の 確認方法	<p>○助成対象者、助成対象水田、助成対象面積、助成対象作物 交付申請書、営農計画書、現地確認、水田収益力強化ビジョンにて確認</p> <p>○その他 取組実績面積は、圃場位置図、利用供給協定、現地確認、作業日誌、写真等により確認</p>					
成果等の 確認方法	<p>当年11月末までに、以下の方法で確認する。 取組面積については、支払対象面積を集計 作付面積については、圃場位置図、利用供給協定等で確認</p>					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付して下さい。

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	妹背牛町地域農業再生協議会			整理番号	9	
使途名	資源循環助成(耕畜連携)					
対象作物	飼料作物、WCS用稲(別表のとおり)					
単 価	10,700円/10a以内(上限13,000円)					
課 題	飼料作物及びWCS用稲の作付を維持していくためにも作物の生産力を確保することが課題となる。対象作物を給与した家畜のたい肥を散布することにより肥料費の削減によるコスト低減、また土壌の改善や雑草の軽減を図ることができることから本取組により耕種農家を支援し、今後も継続的に耕畜連携の取組を推進する必要がある。					
目 標			2016~2020 の平均 (5中3)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	取組面積	目 標	-	9.0ha	10.4ha	11.1ha
	作付面積		-	35ha	37ha	40ha
	取組面積	実 績	7.2ha	-	-	-
作付面積	33.8ha		-	-	-	
内 容	耕種農家と畜産農家における地域内連携を図るため、飼料作物等生産水田への堆肥散布による耕畜連携に取組む農業者に助成する。					
具体的要件	<p>○助成対象者 : 助成対象作物を作付けした農業者</p> <p>○対象農地 : 水田</p> <p>○助成対象作物 : 飼料作物、WCS用稲(別表のとおり)</p> <p>○取組要件</p> <p>1 連携の相手方となる者(畜産農家等)との間に、3年間以上を締結期間とする利用供給協定が締結(自家利用の場合には自家利用計画が策定)されていること。なお、利用供給協定に含まれるべき事項は以下のとおり。</p> <p>【利用供給協定に含まれるべき事項】</p> <p>① 取組の内容 ② 供給される飼料作物等の種類 ③ 飼料作物を生産する者 ④ 堆肥を散布する者 ⑤ 圃場の場所及び面積 ⑥ 堆肥の散布時期及び量 ⑦ 利用供給協定締結期間 ⑧ 堆肥散布の条件(作業分担及び品代・経費の負担) ⑨ その他必要な事項</p> <p>2 1に基づき水田で生産された対象作物の供給を受けた家畜の排せつ物から生産された堆肥を当年度において施肥すること。</p> <p>3 堆肥の散布量が10a当たりで2t又は4m³以上であること (成牛換算は育成牛2頭当たり成牛1頭とする)</p> <p>4 1ha当たりの延べ放牧頭数が180頭日以上であること</p> <p>5 堆肥散布の取組による他の助成を受けていないこと</p> <p>6 他の耕畜連携の助成(整理番7、8)の助成を受けていないこと</p>					
取組の 確認方法	<p>○助成対象者、助成対象水田、助成対象面積、助成対象作物 交付申請書、営農計画書、現地確認、水田収益力強化ビジョンにて確認</p> <p>○その他 取組実績面積は、圃場位置図、利用供給協定、現地確認、作業日誌、写真、その他堆肥の引き渡しの確認ができる書類等により確認</p>					
成果等の 確認方法	<p>当年11月末までに、以下の方法で確認する。 取組面積については、支払対象面積を集計 作付面積については、圃場位置図、利用供給協定等で確認</p>					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付して下さい。

(別表) 粗飼料作物等の範囲

青刈りとうもろこし、青刈りソルガム、テオシント、スーダングラス、青刈り麦(らい麦又はえん麦を含む。またサイレー
ジ化したものを含む。)、青刈り大豆、子実用えん麦、WCS用稲、青刈りひえ、しこくびえ、オーチャードグラス、チモ
シー、イタリアンライグラス、ペレニアルライグラス、ハイブリットライグラス、スムーズブロムグラス、トールフェスク、メ
ドーフェスク、フェストロリウム、ケンタッキーブルーグラス、リードカナリーグラス、バヒアグラス、ギニアグラス、カ
ラードギニアグラス、アルファルファ、オオクサキビ、アカクローバ、シロクローバ、アルサイククローバ、ガレガ、ロー
ズグラス、パラグラス、パンゴラグラス、ネピアグラス、セタリア、飼料用かぶ、飼料用ビート、飼料用しば

(注) 上記の粗飼料作物等については、食用に供される畜産物を生産するために飼養される牛、馬、めん羊、山羊
に供される場合に限る。

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	妹背牛町地域農業再生協議会				整理番号	10
用途名	地力増進助成					
対象作物	地力増進作物 ※地力増進作物については別表に定める					
単 価	9,880円/10a以内(上限12,000円)					
課 題	<p>本町では、近年、基盤整備の実施により生産性の向上や作業の効率化が進んでいるが、工事後の圃場においては耕盤の破壊や土壌の移動により地力ムラ、また転圧に伴う表土の硬化等の影響が出るため次年度の作物において約10%程度の収量の低下が見られることから、次年度作付までの間に良質な表土を保持させることが課題となっている。</p> <p>そのため、圃場整備後の安定的な収量・品質を確保するために牛ふん堆肥を0.67t/10a鋤き込んだのと同程度の炭素貯留効果や耕盤層を貫通する形で根を張り土壌硬化の改善が期待できるとされている地力増進作物を作付けし鋤き込むことにより、次年度の作付けに向けて圃場を良好な状態に保つ必要がある。</p>					
目 標			2016~2020 の平均 (5中3)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	作付面積	目標	-	20.3ha	-	-
		実績	-	-	-	-
内 容	圃場整備等の土地改良を行い収益性の向上を目的に地力増進作物を作付けに対し助成する。					
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○助成対象者 地力増進作物を作付した農業者 ○対象農地区分 水田(該当年度に圃場整備を行った農地) ○取組要件 圃場整備を行った圃場が該当年度に収穫がない場合に地力増進作物を作付けし鋤き込みを行うこと。 					
取組の 確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ○助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物 交付申請書、営農計画書等で確認 ○取組要件 取組実績面積については圃場位置図、作業日誌、資材購入伝票等により確認。 					
成果等の 確認方法	当年11月末までに、交付申請書、営農計画書及び現地確認により確認する。					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付して下さい。

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	妹背牛町地域農業再生協議会			整理番号	11	
用途名	そば作付助成					
対象作物	そば					
単 価	20,000円/10a					
課 題	そばの作付振興を図り、安定的な所得確保として実需と結びついた契約販売を確保し有利販売を目指す必要があることから生産面積を拡大する必要がある。					
目 標			2016~2020 の平均 (5中3)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	作付面積	目標	-	41.0ha	42.8ha	44.6ha
		実績	35.7ha	-	-	-
内 容	そばの作付振興を図るため、そばの作付に対して助成を行う。					
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○助成対象作物を作付した農業者 ○出荷販売実績の確認できるもの ○対象農地:水田 					
取組の 確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ○助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物 交付申請書、営農計画書等で確認 ○取組要件 <ul style="list-style-type: none"> ①作付面積: 共済加入者は共済引受面積、共済未加入者は農協等が確認している面積により確認。 ②取組実績面積については圃場位置図、栽培管理台帳、作業日誌、資材購入伝票等により確認。 					
成果等の 確認方法	<p>当年11月末までに、以下の方法で確認する。 作付面積については、支払対象面積を集計</p>					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付して下さい。

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	妹背牛町地域農業再生協議会			整理番号	12	
用途名	新市場開拓用米取組拡大助成					
対象作物	新市場開拓用米					
単 価	20,000円/10a					
課 題	主食用米の需要減少が続く中、需要に応じた生産を進める必要があることから将来に向けた取り組みとして、今後大きな需要が見込まれる新たなマーケットを切り開いていくことが重要な課題となることから主食用米から新市場開拓米への転換を図る必要がある。					
目 標			2016～2020 の平均 (5中3)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	作付面積	目標	-	3.1ha	3.3ha	3.5ha
実績		0.0ha	-	-	-	-
内 容	需要者と出荷・販売契約を締結し、新市場開拓用米へ転換する取組を支援する。					
具体的要件	<p>1. 助成対象者 需要者に出荷・販売することを目的として対象作物の生産に取り組む農業者又は集落営農組織とする。</p> <p>2. 取組要件 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める新規需要米取組計画の認定を受けること。</p>					
取組の 確認方法	<p>1. 助成対象者 交付申請書及び営農計画書、出荷契約書、販売伝票、作業日誌等で対象者を確認する。</p> <p>2. 取組要件 新規需要米認定結果通知書</p>					
成果等の 確認方法	当年12月末日までに、作付面積については新規需要米取組計画書、認定結果通知で確認					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付して下さい。

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	妹背牛町地域農業再生協議会		整理番号	13		
使途名	複数年契約加算					
対象作物	飼料用米、米粉用米					
単 価	12,000円/10a					
課 題	飼料用米及び米粉用米について、飼料工場、畜産農家等の需要者から、「安定的に供給して欲しい」という声があることから、飼料用米等が安定的に供給されるよう産地を誘導するため、複数年契約となるように推進していく必要がある。また、飼料用米については、生産コストの削減を図るため、併せて生産性向上の取組を行うことが重要である。					
目 標			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	飼料用米	複数年契約取組面積・数量	目標 —	97.0ha・680.0t	97.0ha・680.0t	97.0ha・680.0t
			実績 —	52.8ha・364.5t	—	—
	作付面積・数量	目標 —	97.0ha・680.0t	134.3ha・949.0t	97.0ha・680.0t	—
		実績 87.5ha・620.0t	52.8ha・373.7t	—	—	—
	米粉用米	複数年契約取組面積・数量	目標 —	5ha・30.0t	5ha・30.0t	5ha・30.0t
			実績 —	0.0ha・0.0t	—	—
	作付面積・数量	目標 —	5ha・30.0t	5ha・30.0t	5ha・30.0t	—
	実績 0.0ha・0.0t	0.0ha・0.0t	—	—	—	
内 容	需要者との複数年契約(3年以上)に基づき、飼料用米・米粉用米を作付けする取組を支援する。					
具体的要件	<p>1 交付対象者 販売農家又は集落営農</p> <p>2 需要者側(需要者又は実需者団体)へ出荷・販売を目的として、以下の要件を満たす3年以上の複数年契約(令和2年度以降に新たに締結された契約であること、かつ令和2年度以降の連続した3年分以上を含む契約であること)に基づき、対象作物の生産に取り組む販売農家又は集落営農(複数年契約に係る新規需要米取組計画又は生産製造連携事業計画に位置付けられた者に限る。)による取組であること。</p> <p>① 生産者側(生産者又は生産者団体のいずれか)と需要者側(需要者又は需要者団体のいずれか)の契約であること。</p> <p>② 販売契約書に各年産米の契約数量及び契約価格(契約価格の設定方法を含む)が明確に記載されており、かつ、契約不履行に対する違約条項があること。</p> <p>③ 複数年契約期間中の契約数量が維持又は増加するものであること。</p> <p>3 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める新規需要米取組計画又は米穀の新たな用途への利用の促進に関する法律に定める生産製造連携事業計画の認定を受けていること。</p> <p>4 飼料用米については、生産性向上のための課題に対する取組として、別紙の取組のうち1つ以上に取り組むこと。</p> <p>5 飼料用米を自らの畜産経営に供する目的で生産する者又は、米粉用米を自家加工品(販売目的)の製造原料に供する目的で生産する者が行う取組についても、3年以上確実に取り組む場合には支援対象とする。</p>					
取組の確認方法	<p>○以下の書類及び現地確認により確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付申請書及び営農計画書 ・新規需要米取組計画書又は生産製造連携事業計画及びその添付書類(新規需要米出荷契約数量等 農業者別一覧表、複数年契約に係る販売契約書等) ・販売伝票、作業日誌等の収穫・出荷・販売を行ったことがわかる書類(※自家利用の場合は、新規需要米自家加工販売計画書) ・別紙の生産性向上の取組を行ったことがわかる書類 					
成果等の確認方法	<p>当年12月末日までに、以下の書類等により確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組面積:支払対象面積 ・作付面積・数量:新規需要米認定結果報告書又は生産製造連携事業計画に係る認定通知書 					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

別紙（地域振興作物一覧）

小豆

花き（切り花母樹含む）の作付品種一覧表

アジサイ	けいとう	ツルウメモドキ	ブルースプレー
アスター	コスモス	つる梅もどき	ブルーレースフラワー
アスチルベ	コティナス	テマリシモツケ	ブルピネラ
アストランチャ	コデマリ	てまり草	ベニバナ
アスパラガス（観賞用）	サリクトラム	デルフィニウム	ホワイトレースフラワー
アナベル	サンダーソニア	とうがらし（観賞用）	マトリカリア
アリウム	シネンシス	トルコギキョウ	ミナヅキ
アリストロメリア	シモツケ	トロリウス	ムスカリ
アルケミラ	シャクヤク	ナデシコ	メロン（観賞用）
ウメモドキ	シンフォリカルフォス	ナナカマド	モナルダ
エキノプシス	スイートピー	ナルコユリ	モルセラ
エリンジウム	スカビオサ	ニゲラ	ヤナギ
エレムルス	スキミア	ネリネ	ユーホルビア
オオデマリ	スズバラ	ハイドランジア	ユキヤナギ（バラ科）
オーニソガラム	スズバラ	パニカム	ユリ
おもちゃかぼちゃ	スズラン	パプチシア	ラークスパー
オルナヤ	スターチス	ハボタン	ライラック
カーネーション	ストック	バラ実物	ラナンキュラス
カスミソウ	スナップ	ビバーナム	ラムズイヤー
かぼちゃ（観賞用）	スノーボール	ビブルナム	リアトリス
カラー	スピードリオン	ヒペリカム	リシマキア
カンパニュラ	スモークツリー	ヒマワリ	リンドウ
キイチゴ	スモークツリー	ヒメヒコダイ	ルドベキア
キク	セダム	ヒメヒマワリ	ローズマリー
キャンディタフト	センニチソウ	フェンネル	ワレモコウ
きんぎょそう	ソリダコ	フサスグリ	菊アスター
グラスペディア	ダリア	ブブレ	紫式部
クレマチス	チャームブルー	フリージア	小菊
グロリオサ	チョコレートコスモス	ブルースター	梅もどき

その他野菜の作付一覧表

アジウリ	ゴーヤ	ズッキーニ	パセリ
アスパラガス	ごぼう	スナップエンドウ	パプリカ
いちご	こまつな	セロリ	ブロッコリー
いんげん	さつまいも	そらまめ	ほうれんそう
うり	さといも	だいこん	マダーボール
エゴマ	サニーレタス	たまねぎ	みずな
えだまめ	さやいんげん	トマト	みつば
オクラ	さやえんどう	ながいも	ミニかぼちゃ
かぶ	サンチュ	なす	ミニトマト
かぼちゃ	しいたけ	なた豆	みょうが
カリフラワー	七しとう	にら	メロン
カンロ	しそ	にんじん	モロヘイヤ
キャベツ	シロウリ	にんにく	レタス
きゅうり	スイートコーン	ねぎ	山わさび
ぎょうじゃにんにく	すいか	はくさい	グリーンピース
きくいも			

地力増進作物一覧

えん麦	青刈りとうもろこし	ソルガム	イタリアンライグラス
ギニアグラス	スーダングラス	アカクローパー	アルサイククローパー
クリムソクローパー	ベッチ	ベルコ	カラシナ
レバナ	はぜりそう	マリーゴールド	ひまわり
キガラシ	ステビア	ナタネ	ハイオーツ
ライ麦			

(別紙)

生産性向上のための取組

取組内容	備考
多収品種の導入	
不耕起田植技術	
排水対策 (明暗きよ排水の整備、心土破碎)	
育苗・移植作業の省力化 (直は栽培、乳苗移植、プール育苗、密苗栽培、疎植栽培)	
土づくり (堆肥の施用、ケイ酸質資材の施用)	
肥料の低コスト化、省力化 (土壌分析・生育診断を踏まえた施肥、流し込み施肥、側条施肥)	
農薬の低コスト化、省力化 (種子の温湯消毒、農薬の苗箱播種同時処理、農薬の田植同時処理、共同防除)	
立毛乾燥	
担い手が行う取組	農地中間管理機構の借受者、認定農業者、認定新規就農者、集落営農、人・農地プランに位置付けられた地域の中心となる経営体
施設・機械の共同利用	
収穫・流通体制の改善 (フレコン・バラ出荷、オペレータやコントラクタ等への作業委託)	
地域内流通	妹背牛町内の需要者への出荷